

4月4日に行った再調査結果(H20.4.22)

<会計手続上の不適正(委託料等) - 11件>

関与時の所属		時期	事業名	概要	当時の金額	現在残高
1	市民局 西成同和地区解放会館	S60.4~H3.5	不明	職員が事務局業務を行う団体(大阪市同和事業促進協議会)への補助事業・委託事業において、実際の支出額とは異なる虚偽の精算報告により捻出した資金を団体の運営資金として使用していた。	不明	不明
2	市民局 同和対策部	H8.4~H9.4	解放会館夜間休日管理	職員が事務局業務を行う団体(大阪市同和事業促進協議会)への委託事業において、実際の支出額とは異なる虚偽の精算報告により捻出した。用途は不明	数百万円以上	不明
3	旭区 支援運営担当	H16	老人健診事業	職員が事務局業務を行う団体(老人保健事業推進委員会)への委託事業において、虚偽のゼロ精算報告により捻出し、予備の費用として団体名義の通帳に保管していた。	約20万	不明
4	市民局 人権啓発課	H8~H16	大阪市人権啓発推進協議会	職員が事務局業務を行う団体への委託事業において、虚偽のゼロ精算報告により捻出し、年度内未執行の事業を次年度以降に執行する際の経費として使用していた。	約550~約1530万	約3000万
5	東淀川区 区民企画担当	H16~H18	花と緑のまちづくり推進委員会	職員が事務局業務を行う団体への委託事業において、虚偽のゼロ精算報告により捻出し、団体会計に蓄積していた	不明	不明
6	ゆとりとみどり振興局 文化振興課	H14~H18	大阪文化賞・大阪芸術賞等授賞実行委員会	職員が事務局業務を行う団体事業において、事業経費の残金である可能性の高い資金を職員名義の別口座で管理し、当該事業に充当した。(大阪市より団体へ分担金を交付)	最高額(H14)約240万	なし
7	ゆとりとみどり振興局 文化振興課	H16	大阪市文化振興実行委員会	職員が事務局業務を行う団体事業において、事業経費の残金を団体において繰越手続を行わずに次年度に繰越し、当該団体名義の通帳に保管し、次年度事業費に充当した。(次年度、事業費残額150万を市へ戻入)	約462万	なし
8	大正区 区民企画	H11~H17	統計調査員研修確保対策協議会	職員が事務局業務を行う団体への委託事業において、虚偽のゼロ精算報告により団体会計に蓄積し、団体が使用していた	(H14当初)約4万	約12万

* 字体をゴシックとしている部分は4月18日午前10時時点の結果速報より後に申告があったものである。

4月4日に行った再調査結果(H20.4.22)

関与時の所属		時期	事業名	概要	当時の金額	現在残高
9	天王寺区 区民企画担当	H14~17	地域防災振興事業	職員が事務局業務を行う団体(地域振興会)への委託事業において、委託料の残金である可能性がある資金が団体会計に蓄積していた	不明	不明
10	教育委員会(学校園) 榎本小学校	H13?		就学援助費口座の残金及び就学援助金の残金である可能性がある現金が存在		口座残金 約40万 現金約5万
11	教育委員会(学校園) 新高小学校	平成15年度?		就学援助費口座の残金が存在		約5万

* 字体をゴシックとしている部分は4月18日午前10時時点の結果速報より後に申告があったものである。

4月4日に行った再調査結果(H20.4.22)

<不適正資金 - 9件>

関与時の所属		時期	概要	当時の金額	現在残高
1	環境事業局 東南環境事業センター	H7.4~H9.8	白紙領収書を使用して現金化保管し、庁舎管理で緊急を要する小口資金の対象外の物品購入に充てていた	数千円	不明
2	市民局 南方人権文化センター	H12.10~H14.3	経過不明の資金が入金された通帳を代々引継ぎ、備品購入に充てていた	不明	不明
3	福島区 企画総務課	H11.5~H12.3	虚偽の物品購入契約を行い、差額は計理担当者に管理されていた。用途は不明	数千円から3万円の資金を10数回検出	不明
4	健康福祉局 両国老人福祉センター	H13.4~H18.4	虚偽の物品購入契約を行い、差額を管理し、館事業に充てていた。	約20万~40万	不明
5	北区 総務課	H8~H9	虚偽の物品購入契約を行い、差額を個人名義の銀行口座へ保管し、備品、消耗品の購入や輪転機のリース料の一部に充てていた	不明	不明
6	浪速区 庶務課	H元.5~H9.4	虚偽の物品購入契約を行い、差額を管理し、区交際費の不足分や緊急に必要な物品の購入に充てていた	不明	不明
7	浪速区 税務課	H12.5~H14.3	虚偽の物品購入契約を行い、差額を管理し、緊急に必要な物品の購入に充てていた	不明	不明
8	教育委員会 飛鳥青少年会館	H6.4~H10.4	虚偽の物品購入契約を行い、差額を管理していた。用途は不明	不明	不明
9	旭区 区民企画担当	H14~H17	職員が事務局業務を行う団体(統計調査員研修確保対策協議会)への委託事業費を全額引き出して現金で保管し、業務に必要となる備品や消耗品を購入した	不明	なし

* 字体をゴシックとしている部分は4月18日午前10時時点の結果速報より後に申告があったものである。

4月4日に行った再調査結果(H20.4.22)

<預け - 10件>

関与時の所属		時期	概要	当時の金額	現在残高
1	福島区 企画総務課	H11.5～H12.3	事務用品の購入にあたり、代金の一部を業者に管理させていたもの。備品購入に使用	10～20万円台	不明
2	市民局 同和対策部	H3.5～H8.4	事務用品の購入にあたり、代金の一部を業者に管理させていたもの。事務用品の購入に使用。	1000万以上(H3.5)～数十万(H8.4)	不明
3	ゆとりとみどり振興局 文化振興担当	H14.4～H17.3	事務用品の購入にあたり、代金の一部を業者に管理させていたもの。文具購入やパソコン修理費に使用	十数万	不明
4	福島区 地域保健福祉課	H18.5～H19.1	事務用品の購入にあたり、代金の一部を業者に管理させていたもの	20～30万程度	0
5	民生局 大阪市立児童院	S62～H2	急な備品購入などの支出に対応するため、代金の一部を業者に管理させていたもの。遊具類、備品等の購入に使用	不明	不明
6	市民局 同和対策部	H9.5～H10.9	事務用品の購入にあたり、代金の一部を業者に管理させていたもの。事務用品の購入に使用。	不明	不明
7	教育委員会 庶務課	S62	事務用品の購入にあたり、代金の一部を業者に管理させていたもの。事務用品や事業用物品の購入に使用	30万程度	不明
8	教育委員会 学校保健課	H1～2、4	事務用品の購入にあたり、代金の一部を業者に管理させていたもの。事務用品や事業用物品の購入に使用	30万～100万程度	不明
9	教育委員会 学校保健課	H14～H19	事務用品の購入にあたり、代金の一部を業者に管理させていたもの。調理機器および厨房機器、厨房機器設置工事費等に使用。	最高額(H16末)約2695万円	0
10	教育委員会 中央青年センター	H15.5～H17.4	事務用品の購入にあたり、代金の一部を業者に管理させていたもの。	不明	0

* 字体をゴシックとしている部分は4月18日午前10時時点の結果速報より後に申告があったものである。